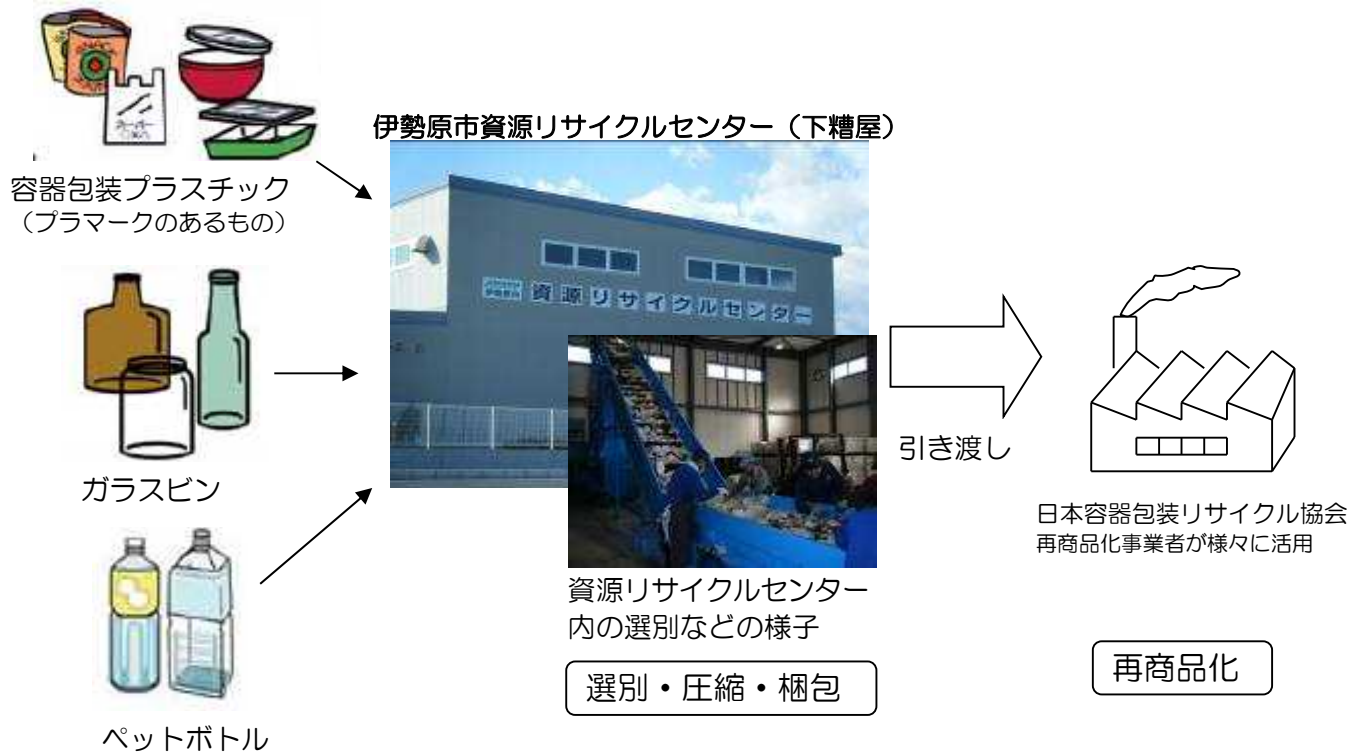






# ごみと資源

伊勢原市の一般ごみの排出量は、減少傾向にあります。平成20年度より容器包装プラスチックの分別回収が開始され、さらにごみの排出量が削減されることが期待されています。それに伴い、リサイクル推進の拠点設備として、伊勢原市資源リサイクルセンターが建設されました。資源リサイクルセンターに集められた容器包装プラスチック等は選別・圧縮・梱包され、資源化されます。



## エコやリサイクルに役立つ環境関連マーク

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <p><b>エコマーク</b><br/>環境にやさしい商品と認定されたものにつく</p>        | <p><b>グリーンマーク</b><br/>古紙を再生利用された雑誌、学習帳などの製品につく</p>    | <p><b>統一省エネラベル</b><br/>製品の省エネ性能がどれくらいかを表示する</p>         | <p><b>紙マーク</b><br/>紙製容器包装に表示が義務づけられている</p>        |
| <p><b>アルミ缶識別マーク</b><br/>アルミ製の飲料容器に表示が義務づけられている</p>  | <p><b>スチール缶識別マーク</b><br/>スチール製の飲料容器に表示が義務づけられている</p>  | <p><b>ペットボトル識別マーク</b><br/>ペットボトルの飲料容器に表示が義務づけられている</p>  | <p><b>プラマーク</b><br/>プラスチック製容器包装に表示が義務づけられている</p>  |

### 3つのR(アール)って知っているかな？



ごみを3つのRで減らそうというものです。ごみを減らすことは、いろいろな環境問題の解決にもつながります。

まずできることは、ごみを出さないで再使用し、それでもだめなら、資源にして利用しようということです。

#### Reduce リデュース



むだなごみの量をできるだけ少なくすること

#### Reuse リユース



一度使ったものをごみしないで何度も使うこと

#### Recycle リサイクル

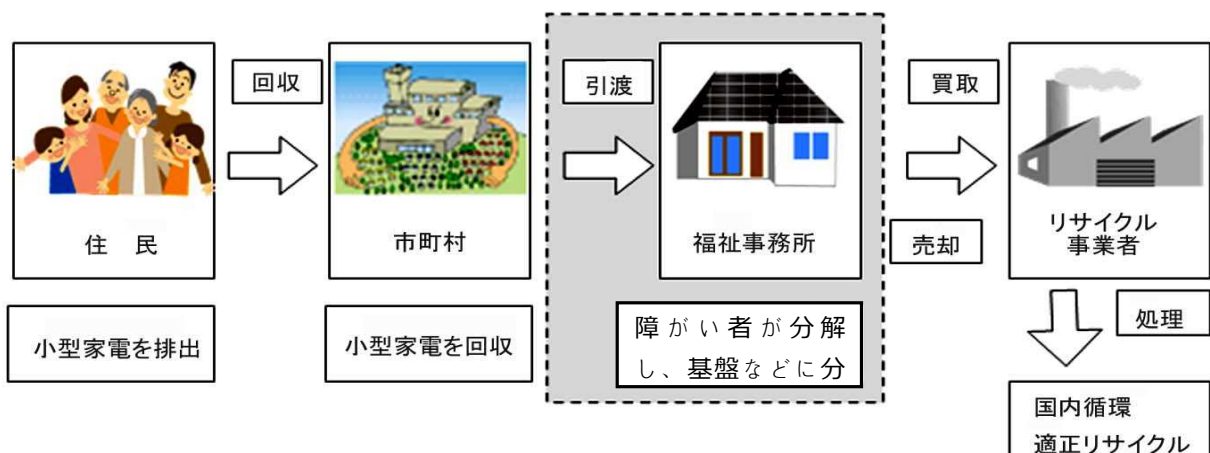


使い終わったものをもう一度資源に戻して製品を作ること

### 小型家電回収

携帯電話やデジタルカメラといった小型家電には、レアメタルや有用金属などの資源が使われています。国内は資源回収が遅れていてほとんどが小型家電は不燃ごみとして収集され、分別されずに他の金属類と一緒に金属再生業者等へ売却されています。

伊勢原市は、有用な資源の回収だけでなく障がい者の社会参加の促進も図るという観点から、市町村が小型家電を福祉事業所へ引き渡し、そこで分解・分別したものをリサイクル事業者へ引き渡す事業モデルの神奈川県第1号として小型家電の回収をしています。



現在、日本全体で年間に廃棄される小型家電は約65.1万トンと推定されています。その中に含まれている有用な金属などの量は約27.9万トン、金額にして約844億円分にも上るといわれます。そのため、使用済み小型家電は、都市にある鉱山という意味で、「都市鉱山」といわれています。



使用済小型家電製品専用の回収ボックスは次の場所に設置してあります。

市役所正面玄関、中央公民館、大山公民館、成瀬公民館、比々多公民館、高部屋公民館、伊勢原南公民館、大田公民館、ノジマ伊勢原店（各施設の開館時間に利用してください。）。

回収するものは携帯電話、デジタルカメラ、ビデオカメラ、携帯型・据置型ゲーム機、CD、MD、デジタルオーディオプレーヤー、電子辞書、ポータブルDVDプレーヤー、車載型テレビ、カセットタイプのゲームソフト、ノートパソコンです。

なお、個人情報はず必ず消去してから出してください。また、携帯電話のデータカード等は必ず抜いてから出してください。

#### 使用済小型家電製品専用の回収ボックス

※ レアメタルとは、携帯電話やノートパソコンなどのバッテリーやモーター、液晶画面などに使われる金属のことで、流通量が少なく、希少な金属の総称です。また、日本が今後力をいれていくことが予想されるエコカーや太陽光発電の主要部品にもレアメタルは欠かせません。

# 混ぜればごみ 分ければ資源

日本全体で、1年間に出るごみの量は、東京ドーム約140杯分といわれています。みんなの通う学校からも毎日たくさんのごみが出ています。再利用することももちろんのこと、一番大切なのは、出すごみの量を減らすことです。使えるものは最後まで大事に使いましょう。

## 伊勢原市が収集するごみの種類

|  |   |
|--|---|
| <p><b>可燃・・・燃やすごみ</b></p> <p>※生ごみは水気を切ってから！</p> <p>◆可燃物収集場所へ</p>  | <p><b>資源・・・古紙類、<sup>※1</sup>ペットボトル、<sup>※2</sup>缶類、衣類・古布、廃食用油</b></p> <p>※1 新聞、雑誌・書籍、雑紙<br/>段ボール、紙パック</p> <p>※2 キャップとラベルは外して容プラへ</p> <p>◆資源物収集場所へ</p> |
| <p><b>不燃・・・<sup>※1</sup>ガラスびん（3色分別）、<sup>※2</sup>有害物、不燃物</b></p> <p>※1 びんのキャップは外す<br/>※2 蛍光管、水銀式体温計、乾電池<br/>使い捨てライター、カセットボンベ・スプレー缶類</p> <p>◆不燃物収集場所へ</p> | <p><b>容プラ・・・容器包装プラスチック</b></p> <p>このマークがあるもの</p> <p>※汚れがあるものは、燃やすごみへ</p> <p>◆資源物収集場所へ</p>   |

伊勢原市では収集された可燃（燃やすごみ）の中に古紙類と容プラが多く混ぜられているそうです。そこで古紙類と容プラ（容器包装プラスチック）の出し方を覚えて家でやってみましょう。



以外にも資源になる紙ごみがあります

### 古紙類

|  |                                    |  |
|--|------------------------------------|--|
| <p><b>新聞</b><br/>■ひもで十字に結ぶ<br/>折り込み広告は分けなくてもよい</p> | <p><b>雑誌・書籍</b><br/>■ひもで十字に結ぶ</p>  | <p><b>段ボール</b><br/>■平たく伸ばしてひもで束ねる<br/>汚れているものは「燃やすごみ」へ</p> |
| <p><b>紙パック</b><br/>■水洗いし、開いて乾燥後<br/>ひもで束ねる</p>     | <p><b>雑紙</b> ■ひもで束ねる。または紙袋に入れる</p> |  |

## 紙は大切な資源です

- 雑紙として出せるもの
- 紙箱（お菓子、ティッシュ、冷凍食品など）●包装紙
  - ハガキ、封筒●ポスター、カレンダー●メモ用紙、プリント
  - パンフレット、チラシ●トイレトーパー、ラップの芯
  - 点字用紙（発泡性及び表面に特殊加工してあるものは不可）など

- ・ティッシュの箱や封筒のビニール部分、クリップなど紙以外のものは取り除き、材質に応じて分別してください。
- ※雑紙として出せないものの例（燃やすごみに出してください）
  - ・特殊加工された紙（ビニールコート紙、防水紙、ワックス加工紙、合成紙）
  - ・写真、油紙、感熱紙、カーボンコート紙、アルミ箔のついた紙・紙パック
  - ・臭いがついた紙（石けん、線香の箱）、油などで汚れた紙、シュレッダーされた紙など

お菓子の空き箱も資源になります



出せないものもあるから気をつけて！



〈プラマーク〉



## 容器包装プラスチックとは？

容器包装プラスチックとは、商品が入っている容器や包装で、その商品が消費されたり、取り出されたあと不要になるもののうち、プラスチック・ビニール類のものです。目印として識別表示マーク(プラマーク)が付いています。

## こんなものが容器包装プラスチック

### ■ポリ袋・レジ袋類



### ■ラップ・包装用フィルム類



### ■容器・カップ類



### ■トレイ・パック類



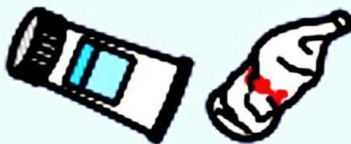
### ■ボトル類 (ペットボトルは除く)



### ■ふた・キャップ・栓類



### ■チューブ類



### ■梱包材・緩衝材・その他



種類に関係なく、  
一つの袋にまとめて  
出してね



## 出し方は・・・

**1** 中身を食べきる、使いきるなどして空にする。



**2** 残りかすがある場合は、水で軽くすすいだり、ふき取ったりして、汚れを必ず取る



**3** 透明・半透明のビニール袋(レシ袋可)に入れて、決められた日時に出す。



- 値段シールなどで取れないものは、無理に取る必要はありません。
- 白色トレイはスーパーなどの店頭回収を利用するようにしてください。

容器を減らすため、容器をつぶしたり、まるめるなどしてビニール袋に入れてください



容器包装プラスチックに残りかすなど異物がついていると資源かの妨げになります。また悪臭、カビが発生するといった衛生面の問題も生じます。チューブ類などは、ハサミで切り開くなど

きれいにしてください。どうしても汚れのとれないものは「燃やすごみ」に出してください。

### ■容器包装プラスチックとして出せないもの



洗面器  
ビデオテープ  
おもちゃ  
CDなどの  
プラスチック  
製品

※燃やすごみ、または大きさに応じて粗大ごみにだしてください。

## マイクロプラスチックの問題

海水中に漂う「マイクロプラスチック」の生態系に与える影響が、国際的にも問題になっています。

海に排出されたプラスチックごみは波や紫外線で粉砕され、大きさ5mm以下の「マイクロプラスチック」という新たなごみになります。

「マイクロプラスチック」は、魚などがエサと間違えて飲み込むほか、窒息死することもあり、生態系に悪影響が出ると懸念されています。

また、魚が食べてしまったプラごみは、胃の中で消化されないため、間接的に人間が食べることになります。



年間3億トンのプラごみのうち800万トンが海に流れ出ていると言われています。

東京湾で捕れたカタチイワシの8割からマイクロプラスチックが検出されるなど日本でも食品汚染の懸念が高まっています。

クジラの体内にプラスチックごみが大量に蓄積したため栄養がとれず餓死してしまった事例もあります。



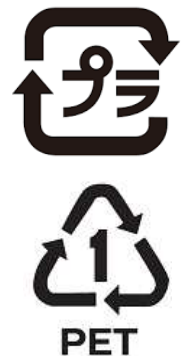
## プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル！

プラスチックは、現代社会に不可欠な素材である一方、2050年カーボンニュートラルや新たな海洋汚染をゼロにする大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの達成など、プラスチックをとりまく様々な環境問題に対応していくには、プラスチックの資源循環を加速し、循環型社会へ移行していくことが必要です。プラスチック製品の設計から排出・回収・リサイクルに至るまで、プラスチックのライフサイクル全般に関わる事業者・自治体・消費者の皆様で、3R+Renewableに取り組んでいきましょう。

買い物のときはマイバック、水分補給にはマイボトルを持参し、プラスチック製品の使用を減らしましょう。



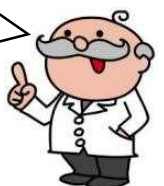
ごみと資源は正しく分別しリサイクルしましょう。



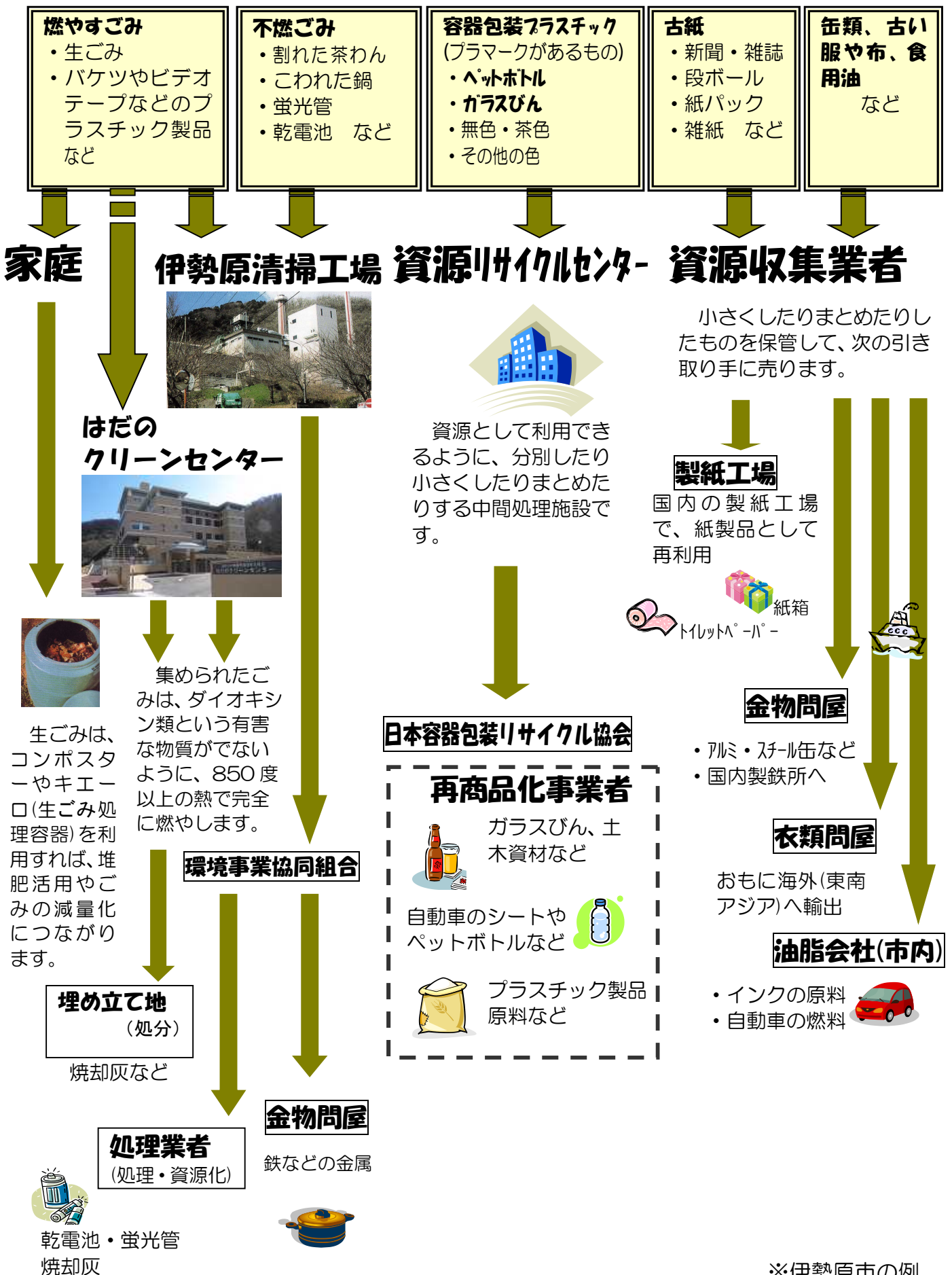
伊勢原市公式イメージキャラクター  
クルリン

なぜ海にプラスチックごみが流れてしまうの？

拡大し続けるプラごみに、リサイクルや焼却処理、埋め立て処理が追いつかず、適正に処理されないプラスチックや、ポイ捨てされるプラスチックの一部が、側溝などを通じてやがて海にたどり着くからです。



# ゆたかなくらしから出たごみのゆくえ



※伊勢原市の例

## はだのクリーンセンター



前ページのフロー図は、私たちの家庭から出るごみのゆくえですが、コンビニエンスストアなどの事業所から出される伊勢原市のごみの一部は、秦野市にある「はだのクリーンセンター」に集められ処理されます。

はだのクリーンセンターは秦野市と伊勢原市が協力し、秦野市伊勢原市環境衛生組合として運営しています。

平成25年の4月から動きだし、最新の技術を導入して、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用し、効率的な発電を行う循環型社会に適応した地球にやさしい機能を備えた施設です。

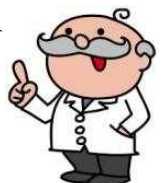
## はだのクリーンセンターのごみ処理の流れ



3,000kWの電気  
ってどのくらいの量なのかな？

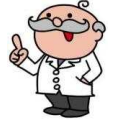


伊勢原市民1人当たりの年間電気使用量は、平均で1,500kWh前後だから、おおよそ1人が使う電気量の2年間分に相当します。





ごみを減らして限りある資源をくり返し利用していく社会を「**循環型社会**」



と言います。

金属や石油といった天然資源は人間が作り出すことができないため、いつかなくなるものです。ごみは捨てるものという考えを見直して、ごみは出さない、捨てずに再利用する、別のものとして再生しましょう。

- 身の回りで3Rができないか考えてみましょう。

- ごみの量を減らすにはどうすればいいのか考えてみましょう。

#### 参考

※3Rについてさらに学んでみましょう（環境省ホームページ「3Rまなびあいブック」）  
[http://www.env.go.jp/recycle/yoki\\_work/b\\_2\\_book/00\\_3r\\_manabiaiobook\\_kodomo.pdf](http://www.env.go.jp/recycle/yoki_work/b_2_book/00_3r_manabiaiobook_kodomo.pdf)

※生物多様性と外来生物について（環境省ホームページ「外来種の影響と生物多様性」）  
[https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/eikyo\\_tayousei04.pdf](https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/eikyo_tayousei04.pdf)

# 環境を守るために私たちができること

## EM液の活用!!

伊勢原市には、EM液によるプール清掃やトイレそうじを行っている学校があるんだ。EM液とは、昔から土や河川の浄化に関わってきた、人に役立つ微生物の集まりのことを言います。

EM液による一番の効果は、プールのヘドロやぬめり、悪臭が少なくなって、安全に衛生的に掃除ができることです。洗剤などを大量に使うことによる河川や海の汚れや生き物に与える影響を考えると、EM液による清掃は、地球にも人にも優しい活動です。



## 市内の会社もこんな取り組みをしているよ

### 大山クリーン作戦を実施しました

市内の工場事業所による伊勢原地区環境保全連絡協議会は、クリーン活動を実施しています。令和3年度は道灌まつりの中止を受け、大山クリーン作戦を実施しました。

### 道灌まつりクリーン作戦を実施しました

市内の工場事業所による伊勢原地区環境保全連絡協議会は、クリーン活動を実施しています。

令和4年度は協議会に加盟している市内事業所の従業員を中心に土日合わせて40名が参加し、いせはら道灌まつりの会場内に落ちたごみの清掃活動を実施しました。

回収ごみ量は26.8kg（可燃19.4kg、PET2.8kg、びん・缶4.6kg）でした。

### 道灌まつりでは、フードドライブも実施しました

市内の工場事業所による伊勢原地区環境保全連絡協議会は、フードドライブを実施しています。

令和4年度は、いせはら道灌まつりの中でフードドライブを実施し、37の方が348個の食品を持ち寄っていただきました。

今回受け付けた食品は、伊勢原市社会福祉協議会に寄付した後、子ども食堂等にて活用されています。この活動は、「食品ロス」の削減に繋がる取組です。